

アタマジラミ

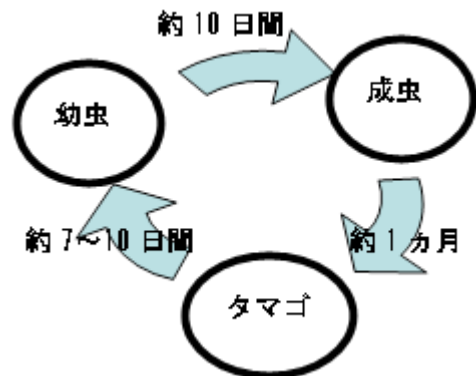
ヒトに寄生するシラミは、アタマジラミ、ケジラミ、コロモジラミの3種類があり、園等で集団発生するのがアタマジラミです。アタマジラミは、頭髮に寄生し、頭皮から吸血してかゆみや湿疹などを起こします。戦後に、コロモジラミが蔓延したことから「シラミ＝不潔」というイメージでとらえられがちですが、現代では、不潔が原因でアタマジラミが発生することは、ほとんどありません。集団生活のなかで、知らない間に感染が広がってしまうことが多いので、差別やいじめにつながらないように、職員が正しい知識をもち適切な対応を行いましょう。

①アタマジラミの一生

タマゴから幼虫、成虫と成長します。タマゴは、頭髮に固着しているため、洗髪や専用のクシ等を用いても完全に取り去ることはできません。

いっぽう、幼虫や成虫はしっかりと洗髪すると洗い流すことができます。成虫になると産卵してしまうので、タマゴから孵化して間もない幼虫の時期に対策をとることが効果的です。

タマゴから幼虫が孵化するまでに、7～10日間かかりますが、実際には、色々な時期に産卵されたタマゴが混在するので、一番最後に産卵したタマゴが孵化する10日後まで、毎日丁寧な洗髪を繰り返すと、タマゴがなくなります。



②どのように感染するか？

子どもは髪が触れ合うほど身体を寄せ合って遊ぶことが多いので、大人と比べてうつりやすいと考えられています。

【以下のようなことでうつります】

- (1) からだを寄せ合って遊ぶ（髪から髪へ）
- (2) 寄り添って寝る（髪から髪へ）
- (3) クシ、ブラシ、帽子、ヘアゴム、マフラーなどの貸し借り（物から髪へ）
- (4) 寝具類の共有（物から髪へ）

【以下のようなことではうつりません】

- (1) 同じ部屋にいる（アタマジラミは飛んだり跳ねたりしないため）
- (2) 頭を触る手作業（頭髮のチェック等）
- (3) 床に落ちたアタマジラミが足からはいあがって髪に寄生することはありません。

③感染（寄生）したときの症状

人の頭部に寄生し、頭皮から吸血し、その箇所がかゆくなります。寄生初期には自覚症状のない子どもも多いようですが、寄生する数は増えると、次第にかゆがるようになり、かきすぎて炎症を起こす場合があります。アタマジラミから病気がうつることはありません。

④治療および出席停止の考え方

治療方法としては、シラミの駆除を行うことです。駆除を開始していれば、登園可能であり、出席停止や治癒証明の提出を求める必要はありません。

⑤家庭での予防対策の周知

「おたより」や保護者会などを通じて、以下の点について、日ごろから家庭への指導を行っておきましょう。

- (1) 洗髪を毎日させるようにするとともに、大人の手による洗髪を月に数回は行ってもらおうこと。
- (2) 三つ編みや、ゴムで束ねた長い髪は通気性が悪く、アタマジラミが発生しやすいので、特に念入りに洗い、よく髪を乾かしてから髪の手入れをすること。
- (3) スキンシップを兼ねて、以下の方法で、保護者より定期的に子どもの頭髪のチェックをしてもらうこと。

アタマジラミの見つけ方

髪の毛の毛根近くに産みつけられた卵を探します。卵は、耳の後ろや後頭部に多く見られ毛の根元付近についていることが多いです。一見すると「ふけ」のようですが、卵はしっかりと産みつけられているので、手でしごかないととれません。

⑥園での対策（日常生活の注意）

園では、いつ、どの子どもにアタマジラミが寄生していても不思議ではありません。実際に被害が発生していなくてもアタマジラミがいることを想定して、日ごろから以下の対策を行いましょう。

○園内を清掃しましょう。

アタマジラミは、人の体から離れてもしばらく生きているため、その間に頭や衣類などが接触すれば寄生されるおそれがあります。掃除機などをかければ取り除くことができるので、日ごろから園内をよく清掃しておきましょう。

○定期的にこどもの頭をチェックしましょう。

子どもの頭をチェックされることを嫌がる保護者もいますので、さりげない日常の観察の中で確認したり、個別説明・保護者会などを利用し、事前に理解を求めておくことが望めます。

○身の回りの物は共用をさげましょう。

他の人にうつさないように、また他の人からうつらないように、クシ・タオル・帽子・マフラー・衣類・寝具などは、専用とし、共用は避けましょう。できる限り、他の人の衣類などと重ねて置かないようにしましょう。

○衣類・寝具などは定期的に持ち帰らせましょう。

アタマジラミは、洗濯すれば簡単に洗い流すことができますので、日ごろから衣類や寝具などは定期的に持ち帰らせましょう。

⑦入園児から発生した場合（具体的対応例）

1. 該当（感染）児童数を把握する。（兄弟関係にも注意）
*子どもの気持ちに配慮して子ども達の頭髪を調べる。
2. 該当児の保護者には、**別添**保護者向け資料を実施してもらうよう依頼する。まずは、①アタマジラミの一生に記載しているとおり「10日間、毎日、大人の手で丁寧に洗髪してもらうこと」等を伝える。
3. 該当児以外の保護者への連絡と幼保事業課（【公立保育所の場合】幼保振興課・幼保事業課）・区保健センター・嘱託医へは、状況に応じ報告を行う。
※発生規模により報告・掲示・個別配布等の選択は、各園で行う
（掲示文書は、**別添**発生周知文を参考に）
※「不潔だ」、「だらしない」などの間違ったイメージで子どもの心を傷つけたり、差別やいじめにつながらないように、発言や態度に注意を払う
4. 保育時の配慮事項
※お昼寝の際、該当児を他児と別にする等の工夫をする。（差別やいじめにつながらないように配慮する）
※該当児の衣類・寝具などの管理を行う。
お昼寝用のバスタオルは、毎日持ち帰ってもらう。
毛布・マット等の日光消毒とシーツ類の洗濯をする。
※帽子・タオル・ヘアブラシ等体に触れるものは、共用や一括収納しない。
※ロッカーの清掃、特に床掃除は、1日に2～3回行う。
※玩具の消毒、特にぬいぐるみは洗濯やビニール袋に入れてたたき日光消毒するなど衛生管理に配慮する。
5. 発生状況の経過観察⇒記録を行う。
状況により再度保護者への協力依頼等
6. 対策のチェックを行う。終息時の対応について
○10日間の対策後⇒⇒⇒該当児の頭髪を確認し、シラミがいなければ終息。
いる場合は、対策を見直し、再度10日後に確認します。何度か対策しても駆除できない場合は、区保健センターに相談します。
○保護者へ終息のお知らせ文（**別添**終息周知文）を掲示する

【様へ】

アタマジラミは人間の頭髪に寄生し、頭皮に皮膚炎を起こす疾患であり、衛生不良の指標ではなく、清潔にしているでも頭髪の接触などにより、誰もがうつる可能性があります。子ども同士が遊んでいるうちに頭髪が直接触れ合うことやタオルや寝具を通じてうつることもあります。そのため、園の中だけでなく、家族にもうつる可能性が高いので、家庭でも、今後、次の対策をお願いします。園と家庭、両方の適切な対策が、短期間で駆除するカギとなります。ご協力をお願いします。

1) 毎日、大人の手で洗髪を行ってください。

成虫や幼虫は、普通のシャンプーで洗髪すれば、洗い流せます。卵は取り除くことができませんが、1週間くらいで幼虫になるので、一定期間(10日間ぐらい)毎日洗髪していれば、次の産卵の前に、洗い流すことができます。

ただし、子ども自身による洗髪では洗い方が不十分になりやすいので、**10日間、毎日、大人がていねいに洗髪してあげましょう。**

2) 朝夕、目の細かいクシで頭髪をすくと、効果があがります。

朝夕、目の細かい「スキグシ」でていねいに頭髪をすくと、卵、幼虫、成虫が落ちるので効果的です。スキグシが手にはまらない場合は、できるだけ目の細かいクシで代用し、成虫をとってあげましょう。これらのクシの使用中は、表裏を途中で逆にしないう気をつけましょう。クシのどちらかの面に上面を示す印をつけておくとクシを洗ったあとの再使用時に、わかりやすくなります。

シラミがついたクシは、水洗いし、同じところを2～3回とかしていきま。髪をすべてとかし終えたら、ドライヤーで乾かしてあげましょう。

3) 園に持参しているお昼寝用のバスタオルは毎日持ち帰り、洗濯してください。身に着けている洋服や下着、帽子なども、洗えるものは、毎日取り替え、洗濯してください。

4) 家庭で使用しているタオル、枕カバー、シーツ、パジャマ、下着類なども、毎日洗えるものは、毎日取り替え、洗濯してください。

5) 帽子・タオル・クシ・ヘアーブラシ・マフラー・寝具等は、家庭でも共用をしないようにしましょう。

上記以外の方法として・・・

※シラミ駆除医薬品を使用する

シラミを減らす方法としては、「スミスリン」シャンプーがあります。上記の1)～5)の対策で駆除できるといわれていますが、使用する場合は、医療機関や薬局で購入し、説明書をよく読んで使用してください。

「スミスリン」説明一部抜粋

「スミスリン」シャンプータイプは、人体への安全性の高いピレスロイド系殺虫成分スミスリン（一般名：フェノトリン）を主成分とした、頭髪に寄生するアタマジラミを駆除する品です。卵の孵化期間を考えると、3～4日おきに3～4回繰り返し使用します。液剤のシャンプータイプは、シャンプーを行う要領で塗布をして、5分間待ったあと、液剤を洗い流し、その後、通常のシャンプー液で洗髪します。

※髪を短くする

髪を短くすることは、アタマジラミを見つけやすい、洗髪しやすい、髪をとかしやすいなどの利点がありますが、無理に短くする必要はありません。女の子の場合は、髪を短くすることにより気持ちが傷つくこともあるので対応に配慮しましょう。

※卵の殻について

通常は、上記1)～5)の対策をしていれば十分ですが、卵の殻は取り除けない場合もあります。髪に付着している卵が気になる場合は、髪を1本ずつはさみで切ります。（ご家庭で行ってください。保育所では原則、行いません。）

上記の対策を10日間続け、頭部をチェックし、シラミがいなくなれば、終了となりますが、まだ、シラミが見つかる場合は、対策の見直しが必要となります。

また、シラミがいなくなっても、月に数回、大人の手で洗髪すれば、再発防止できますので、対策終了後も「定期的な大人の手による洗髪」をお願いします。

なお、上記のお願い以外に、園では、他のお子さんとお昼寝用マットレスを別にする、プールの入水はご遠慮いただく（シラミは水に浮かべると数時間単位で死滅するといわれていますが、脱衣場面等を考慮しています）等のご協力をお願いしています。ご了承ください。

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく職員にお尋ねください。

保護者のみなさまへ

〇〇〇〇〇園長

アタマジラミの発生について

保護者の皆様におかれましては、日頃より園の運営にご理解ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、現在、当保育所で、アタマジラミが発生しております。アタマジラミは一時姿を消していましたが、近年、保育園や幼稚園、小学校を中心に集団発生を見るようになってきました。発生した場合には、園と家庭が協力して早期に対処することが大切です。園でもシーツ類の洗濯、マットレスの日光消毒などや掃除の徹底を行っております。ご家庭でも、下記の点にご注意いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

★ 注意事項

(1) 洗髪をしっかり行ってください。

毎日入浴し、子どもが自分で洗髪を行っている場合は、大人が確認してあげましょう。毎日洗髪していても、子どもの手による洗髪は不完全で、予防できないことがあります。小学校低学年までの児童の場合は、時々大人が洗髪するほうが良いでしょう。

(2) 集団生活の中では、知らない間に感染していることがありますので、月に何回かは、大人が子どもの頭を点検しましょう。

髪の毛根部分に、フケ状のものが付いて、洗ってもブラシをかけても落ちない時は、アタマジラミのタマゴの可能性もあります。ご家族全員の頭髪も確認のうえ、駆除しましょう。また、新たな発生を防ぐためにも保育所までご連絡ください。

(3) 枕カバーやシーツ、パジャマ、下着類はこまめに取替えましょう。

(4) 帽子やタオル、クシ、ブラシなどの共同使用はやめましょう。

アタマジラミは不潔で発生するものではありません。
清潔にしても頭髪の接触などにより誰もがうつる可能性がありますので、上記の対策にご協力をお願いします。

別添終息周知文
年 月 日

保護者のみなさまへ

〇〇〇〇〇園長

先頃よりアタマジラミの発生で、みなさまにはご心配をおかけいたしました。
また、お忙しい中、洗髪・洗濯等のご協力をいただき、ありがとうございます。
保護者のみなさまのご協力により、終息しましたのでお知らせします。

ただ、アタマジラミは、近年身近な衛生害虫となっており、再度発生すること
も十分に考えられます。毎日の入浴、保護者の手による定期的な洗髪と、頭
髪チェック（アタマジラミのタマゴは髪の毛の毛根部分についています）、下着
類の着替え等、引き続き心掛けていただきますようお願いいたします。

また、集団生活のなかでは、知らないうちに感染していることがありますの
で、お子様の状態でお気づきになられたことがありましたら、必ず園へご連絡
ください。